

# 第 8 9 期中間事業報告

平成27年 1 月 1 日から  
平成27年 6 月30日まで



日本精蠟株式会社

## 会社概要

商号	日本精蠟株式会社 (NIPPON SEIRO CO., LTD.)
創立	昭和26年2月10日
資本金	11億2千万円
主要な 営業品目	パラフィンワックス、マイクロ クリスタリンワックス、合成ワ ックス等その他各種誘導品およ び重油

(徳山工場全景)



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては平素より社業の発展に格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに当社第89期中間事業報告（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）につきましてご報告申し上げます。

平成27年9月

日本精蠟株式会社

代表取締役社長 **井上 寛**

## 中間事業報告（平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで）

### 1. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過およびその成果

##### 1. 事業環境

当中間期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）のわが国経済は、混乱する中東情勢、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化、ユーロ圏経済の回復遅れ等不透明な状況の中、政府の各種政策と日銀の金融緩和政策により円安や株高基調が継続し、企業業績の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、原油相場は下げ止まり、米国WTI原油が50ドル/バレル前後から60ドル/バレルまで反発の兆しを見せ、東南アジア産原油も同様に50ドル/バレル前半から60ドル/バレル半ばまで反発しました。その後は国際情勢を背景にやや軟調に推移しました。

##### 2. 事業の経過および当期の経営方針等に基づく諸策の実施状況

このような状況の中で、当社は下記の当期経営方針およびISO9001の年度品質方針に基づき、具体的諸施策を推進し、企業価値および企業品質の一層の向上に取り組んできました。その進捗状況と結果は下記のとおりです。

##### 1) 経営方針

- ① 持続的発展を可能とするワックススペシャリストとしての事業基盤の強化を図る。新原料下の安定操業と最適製販の確立、タイ工場の稼働およびアジア市場への販売強化、高機能開発製品の更なる拡充、グローバル人材の育成強化等を図る。  
製品の高品質化・高機能化および需給変動等に機動的に対応できる原料の最適化に取り組み、既存原料に加え新原料の処理を開始いたしました。タイ王国に設立した現地法人Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd.の工場建設に全社的支援体制のもと取り組ましました。本年8月には計画通り工場が竣工し、早期本格稼働に注力してまいります。
- ② 財務体質の改善を図る。予算必達による配当継続、固定費の削減、在庫の適正化、資本の充実等を行う。  
原油価格急落に伴う高値在庫による重油の採算悪化と棚卸資産評価損等が大きく影響し予算達成には至りませんでした。当中間期末においては高値在庫は概ね消化し、また経費削減等に努めたことにより第2四半期会計期間では営業利益で黒字に転換いたしました。配当につきましては長期安定配当の基本方針に基づき、中間配当は当初予定どおり1株当たり5円を決定し、期末配当についても現時点では当初発表どおり5円を予定し、年間配当10円の安定配当を維持してゆく所存であります。  
また、借入金については子会社の新工場建設により増加いたしました。引続き効率的資金運用を念頭に財務内容の改善に努めてまいります。
- ③ 信頼される企業運営を通じて社会貢献を実現する。安全操業、環境保全、コンプライアンスの徹底を図る。

リスク・コンプライアンス事項の見直しをはじめ各部門の内部監査・ISOの継続的改善活動に取り組むとともにCSR活動・環境保全活動を計画どおり実施いたしました。また、グループ内部統制システムの整備拡充を図りました。

2) ISO9001の年度品質方針

日本精蠟はワックスのスペシャリストとして、お客様のニーズに応え、安心してご使用いただける製品・サービスを提供し続けます。

- ① 子会社を含む全組織の品質マネジメントシステムの維持管理および継続的改善に努め、更なるお客様満足度の向上を図ります。
- ② お客様の真のご要望に応えるべく、品質の向上および環境に配慮した製品づくりを目指します。
- ③ 製品含有化学物質管理をはじめ、コンプライアンスに基づいた安心、安全な製品を提供し、お客様からの信頼を高めます。

以上のISO9001の年度品質方針の取組みについては、その具体的行動指針および各部門の品質目標実施計画に基づき、四半期毎の活動状況の品質監査を実施する等継続的なマネジメントレビューを推進し、目標は概ね計画どおり進捗しました。

3) 新中期経営計画NS2017（平成27年度～平成29年度）の基本方針

- ① 原料の多様化とそれに伴う製造技術力（品質の安定とコストダウン）のアップ
- ② 自社開発・高性能製品による成長分野向け製品群の更なる充実（開発・製造・分野）
- ③ タイ工場の早期本格稼働と採算化およびアジア市場におけるゴム老防用ワックスシェアの大幅アップ（数量倍増）
- ④ 総合ワックスメーカーの強みと責任、徹底した採算販売を意識した国内（製品・商品）販売の拡充、将来的な需給変動に対応できるフレキシブルな輸出版売の継続、国内外での「日本精蠟」評価の維持、発展
- ⑤ 重油製造量のミニマイズ化、原料購入を絡めたスキーム化等による安定販路の確保
- ⑥ 借入金圧縮、固定費削減による財務体質強化
- ⑦ 迅速な経営判断のための組織のスリム化、組織・要員再編による効率運営
- ⑧ コンプライアンス、リスク管理の徹底、ISO推進を通じた内部統制システムの強化
- ⑨ 品質・環境マネジメントシステムを通じた環境負荷低減、環境保全の推進

前述のとおり、本年度に予定する各課題とも計画通りに進捗しております。また、本中期経営計画における平成27年度連結業績目標の売上高（28,500百万円）、経常利益（330百万円）、当期純利益（210百万円）、配当（年間10円）については、後述の「3. 当中間期事業概況と成果」をご参照ください。

### 3. 当中間期事業概況と成果

主力のワックス販売は国内では汎用品が低迷したものの高機能製品が伸び、また輸出販売は米国向が回復し、販売数量では35,554トン、販売高では9,683百万円の実績となりました。このうち、国内販売が販売数量では16,908トン、販売高では5,757百万円、輸出販売が販売数量では18,646トン、販売高では3,925百万円となりました。

一方、重油販売は火力発電用需要が漸減する中、販売数量では120,259キロリットル、販売高では5,982百万円の実績となりました。

損益面については、第1四半期会計期間（1月～3月）において前期後半からの原油価格急落に伴う高値在庫による重油の採算悪化と棚卸資産評価損等が大きく影響し大幅な損失計上を余儀なくされましたが、第2四半期会計期間（4月～6月）では高値在庫は概ね消化し、また経費削減等に努めたことにより営業利益で黒字に転換いたしました。

これにより、当中間期の売上高はその他商品を含めて15,743百万円、営業損失で558百万円、経常損失で594百万円、中間純損失で402百万円を計上するに至りました。

なお、当中間期における中間配当は当初発表どおり1株につき5円といたしました。

### 4. 当中間期事業概況のまとめ

生産および販売の状況は以下のとおりです。

#### <生産>

	前 中 間 期	当中間連結期	増 減
原料受入量 (k1)	165,709	170,846	—
実処理量 (k1)	164,131	174,483	—
ワックス (t)	27,011	31,412	—
重油 (k1)	116,577	121,191	—

#### <販売>

	前 中 間 期		当中間連結期		増 減	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ワックス 国内	17,715	5,975	16,908	5,757	—	—
輸出	12,882	2,668	18,646	3,925	—	—
合計	30,598	8,644	35,554	9,683	—	—
重油	117,847	9,462	120,259	5,982	—	—
その他仕入商品		109		76		—

- (注) 1. 国内販売には輸入合成ワックスを含んでおります。  
 2. ワックス数量単位はton、重油数量単位はk1、金額は百万円単位で記載しております。  
 3. 当期より連結決算を開始したため、前中間期は単体の実績を記載しております。また、前中間期との比較は行っていません。

## (2) 主要な事業内容

当企業集団はワックスの専門メーカーとして、石油ワックス、各種ワックスおよび重油の製造・加工・販売を主たる事業としております。

(主要な営業品目)

パラフィンワックス、マイクロクリスタリンワックス、合成ワックス等その他各種誘導品および重油

## (3) 主要な営業所および工場ならびに従業員の状況

### 1. 主要な営業所および工場

#### ① 当社

本 社	東京都中央区
徳 山 工 場	山口県周南市
大 阪 支 店	大阪府大阪市北区
開発研究センター	山口県周南市
(分 室)	茨城県稲敷郡阿見町
つくば事業所	茨城県稲敷郡阿見町

#### ② 主要な子会社

Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd.	
本社・工場	タイ王国チョンブリ県

### 2. 従業員の状況

#### ① 企業集団の使用人の状況

従 業 員 数	前 連 結 会 計 年 度 末 比 増 減
249名	—

(注) 当期より企業集団の使用人の状況を記載しているため、前期との比較は行っていません。

#### ② 当社の使用人の状況

従 業 員 数	前 期 末 比 増 減	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数
237名	4名増	40歳4ヶ月	18年4ヶ月

(注) 従業員数は、臨時社員と派遣社員および当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数であります。

#### (4) 主要な借入先および借入額

借入先	借入残額
	百万円
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,399
株式会社広島銀行	2,989
株式会社みずほ銀行	3,288
株式会社山口銀行	2,014
株式会社西京銀行	1,636
株式会社国際協力銀行	580

#### (5) 資金調達および設備投資の状況

##### 1. 資金調達の状況

設備資金および運転資金につきましては、自己資金および金融機関よりの借入金をもって充当し、増資、社債発行などによる資金調達は行っておりません。

##### 2. 設備投資の状況

当中間期に実施した設備投資の総額は1,250百万円であり、内訳は、徳山工場における既存設備全般の更新および改修工事等177百万円、つくば事業所関係19百万円、タイ工場新設工事1,053百万円であります。

#### (6) 財産および損益の状況

区分	平成24年度 第86期	平成25年度 第87期	平成26年度 第88期	平成27年度 (当連結会計年度) 第89期
売上高(百万円) 中間 年間	20,815 40,077	20,041 39,543	18,216 35,974	15,743
経常利益(百万円) 中間 (△は経常損失) 年間	△144 212	60 275	△336 △217	△594
純利益(百万円) 中間 (△は純損失) 年間	498 641	32 389	△180 △121	△402
1株当たり純利益(△は純損失) 中間 年間	24円60銭 31円84銭	1円63銭 20円90銭	△9円67銭 △6円52銭	△22円45銭
総資産(百万円) 中間 年間	32,969 30,635	30,198 30,600	31,305 31,340	31,929
純資産(百万円) 中間 年間	11,319 11,316	10,632 10,919	11,126 10,759	10,595

(注) 当期より連結決算を開始したため、第86期から第88期は単体で記載しており、第89期は連結で記載しております。

(7) 重要な親会社および子会社の状況

1. 重要な親会社の状況

該当事項はありません。

2. 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd.	千タイバーツ 255,000	% 100	各種ワックスの製造販売

(注) Nippon Seiro (Thailand)Co., Ltd.の重要性が増したため、当期より連結決算を開始しております。

(8) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、中国および新興国の成長減速懸念に加え、原油相場や為替相場の先行き、国内景気の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境の中で、平成27年度の経営方針および品質方針に基づき、伊藤忠商事株式会社との資本・業務提携による既存ビジネスの拡充と新規ビジネス創出の推進をはじめ、本年8月に竣工しましたタイ工場の早期本格稼働等を柱とする経営諸課題に取り組むとともに、業績改善に全力を傾注してゆく所存です。

平成27年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想につきましては、現時点では変更ございません。なお、見直しが必要と判断した場合は速やかに修正する予定です。

株主の皆様におかれましては、諸事情ご賢察のうえ引続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の状況に関する事項

### (1) 取締役および監査役に関する事項

#### 1. 取締役および監査役（平成27年7月1日現在）

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
*井上 寛	代表取締役社長 社長執行役員	
*細田 八朗	取締役 専務執行役員 総務部・経理部・企画管理部管掌 総務部長	
*関谷 正	取締役 常務執行役員 販売開発部・開発研究センター・ 品質管理部・テクノワックス(株)管掌 販売開発部長	
*安藤 司	取締役 常務執行役員 国際部・需給部・Nippon Seiro (Thailand)Co., Ltd.管掌 国際部長	
*福間 芳彦	取締役 常務執行役員 製造部・技術工務部・周和産業(株) 管掌 徳山工場長 兼 製造部長	
常慶 直宏	社外取締役	伊藤忠商事(株)エネルギー・化学 品カンパニー エネルギー第一部門長補佐
秋山 義一	常勤監査役	
田澤 繁	社外監査役	弁護士
吉田 高志	社外監査役	公認会計士

- (注) 1. 当社は執行役員制度を導入しており、\*印の各氏は執行役員を兼務しております。  
2. 取締役の常慶直宏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
3. 監査役の田澤 繁および吉田高志の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、監査役の田澤 繁氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届出ております。  
4. 当社と田澤 繁氏がパートナーとして兼職する柏木・田澤法律事務所との間に重要な取引関係はありません。  
5. 監査役の秋山義一氏は監査役就任まで当社の経理部長職にあり、また監査役の吉田高志氏は、公認会計士として財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。監査役の田澤 繁氏は、弁護士として企業法務に精通しております。  
6. 取締役以外の執行役員は、次のとおりであります。  
執行役員 山本 益司 (Nippon Seiro (Thailand)Co., Ltd.取締役社長)  
執行役員 曾根 一人 (徳山工場副工場長兼技術工務部長)  
執行役員 今野 卓也 (事業推進室長)  
執行役員 三宅 英司 (つくば事業所長)  
執行役員 土屋 直紀 (経理部長兼企画管理部長)

#### 2. 取締役および監査役の報酬等の額

定時株主総会決議に基づく取締役の年額報酬は270百万円以内、監査役の年額報酬は36百万円以内であります。

3. 当中間期中の取締役および監査役の異動

平成27年3月27日開催の定時株主総会において監査役に吉田高志氏が就任いたしました。

平成27年3月27日開催の定時株主総会終結の時をもって取締役 吉田泰邦、齊藤俊雄、西田重信および東 照二の各氏は任期満了により退任し、監査役新井田勝雄氏は辞任いたしました。

4. 前各号に掲げるもののほか役員に関する重要な事項

該当事項はありません。

(2) 株式に関する事項（平成27年6月30日現在）

1. 株式の状況

- |                 |                                    |
|-----------------|------------------------------------|
| ① 発行可能株式総数      | 89,600,000株                        |
| ② 発行済株式総数       | 22,400,000株<br>(自己株式4,481,995株を含む) |
| ③ 当中間期中に増加した株式数 | 該当事項はありません。                        |
| ④ 株主数           | 2,526名                             |

2. 大株主の状況（上位10名）

株 主 名	持株数（千株）	持株比率（%）
伊 藤 忠 商 事 株 式 会 社	1,927	10.75
三 菱 商 事 株 式 会 社	1,120	6.25
神 田 成 二	670	3.73
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社	550	3.06
株 式 会 社 西 京 銀 行	513	2.86
山 九 株 式 会 社	450	2.51
安 藤 パ ラ ケ ミ ー 株 式 会 社	310	1.73
中 京 油 脂 株 式 会 社	300	1.67
徳 機 株 式 会 社	300	1.67
株 式 会 社 広 島 銀 行	290	1.61

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は、自己株式4,481,995株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

3. その他株式に関する重要な事項  
該当事項はありません。

- (3) 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。

- (4) 会計監査人に関する事項

1. 会計監査人の名称  
新日本有限責任監査法人
2. その他子会社を含む監査に関する事項  
該当事項はありません。

3. 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社では、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。監査役会は会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

## 中間連結貸借対照表

平成27年6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
	百万円		百万円
流動資産	16,127	流動負債	13,711
現金及び預金	2,459	支払手形及び買掛金	1,406
受取手形及び売掛金	3,860	短期借入金	9,839
商品及び製品	4,595	賞与引当金	48
原材料及び貯蔵品	4,301	修繕引当金	23
その他	914	その他	2,393
貸倒引当金	△4	固定負債	7,622
固定資産	15,801	長期借入金	4,496
有形固定資産	15,080	再評価に係る繰延税金負債	2,767
土地	9,547	退職給付に係る負債	81
その他	5,532	その他	277
無形固定資産	139	負債合計	21,333
投資その他の資産	581	純 資 産 の 部	
資産合計	31,929	株主資本	4,604
		資本金	1,120
		資本剰余金	25
		利益剰余金	4,597
		自己株式	△1,137
		その他の包括利益累計額	5,991
		その他有価証券評価差額金	119
		土地再評価差額金	5,853
		為替換算調整勘定	17
		純資産合計	10,595
		負債純資産合計	31,929

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

2. 当期より連結決算を開始しております。

## 中間連結損益計算書

平成27年1月1日から  
平成27年6月30日まで

		百万円
売 上 高		15,743
売 上 原 価		15,172
売 上 総 利 益		570
販売費及び一般管理費		1,129
営 業 損 失 ( △ )		△558
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	5	
受 取 配 当 金	36	
受 取 賃 貸 料	131	
為 替 差 益	1	
そ の 他	16	191
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	127	
固 定 資 産 賃 貸 費 用	89	
そ の 他	10	227
経 常 損 失 ( △ )		△594
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	2	2
税金等調整前中間純損失(△)		△597
法 人 税 等		△195
少数株主損益調整前中間純損失(△)		△402
少 数 株 主 利 益		-
中 間 純 損 失 ( △ )		△402

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

2. 当期より連結決算を開始しております。

## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日  
期末配当金受領株主確定日 12月31日  
中間配当金受領株主確定日 6月30日  
定時株主総会 毎年3月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.seiro.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本  
経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本 社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目5番18号  
電話 (03) 3538-3061 (代表)

徳 山 工 場 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0334 (代表)

大 阪 支 店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満二丁目6番8号  
電話 (06) 6365-5685 (代表)

開発研究センター 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0339 (代表)

(分 室) 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

つくば事業所 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

当社ホームページアドレス

<http://www.seiro.co.jp>

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定（*）</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料） ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

（\*） 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

